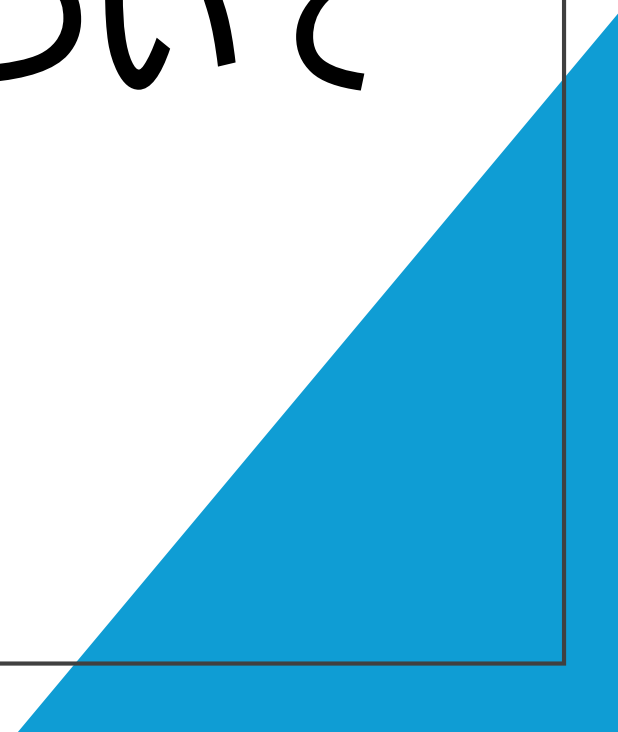


図面の着色方法及び 表題欄の記載等について











令和8年3月 技術企画課



図面に使用する色

- ・ 事業ごとに着色が異なっていたので、統一しました。

図面着色凡例表

道路事業、河川事業、港湾事業		共通	
実施		変更	
 黒	施工済み	 黒	施工済み
 赤	今回施工	 オレンジ	実施と変更無し
 緑	将来施工	 赤	変更で新規計上
 紫	別途施工	 青	廃工
		 緑	将来施工
		 紫	別途施工

図面の着色箇所

- ・ 図面の着色箇所について、ルールを設定しました。

項目	内容・表記方法
着色の濃度	原則として50%(塗りつぶし)
変更図面	表題欄外の上部に「変更」と赤字で記載
新規図面	表題欄外の上部に「変更」および「新規図面」と赤字で記載
廃図	表題欄外の上部に「廃図」と赤字で記載 + 図面全体に大きく赤の×印
数量の変更	当初数量の上下(または近傍)に変更数量を併記。 ※当初数量への二重線は不要。変更なしの「//」は不要

図面の着色箇所

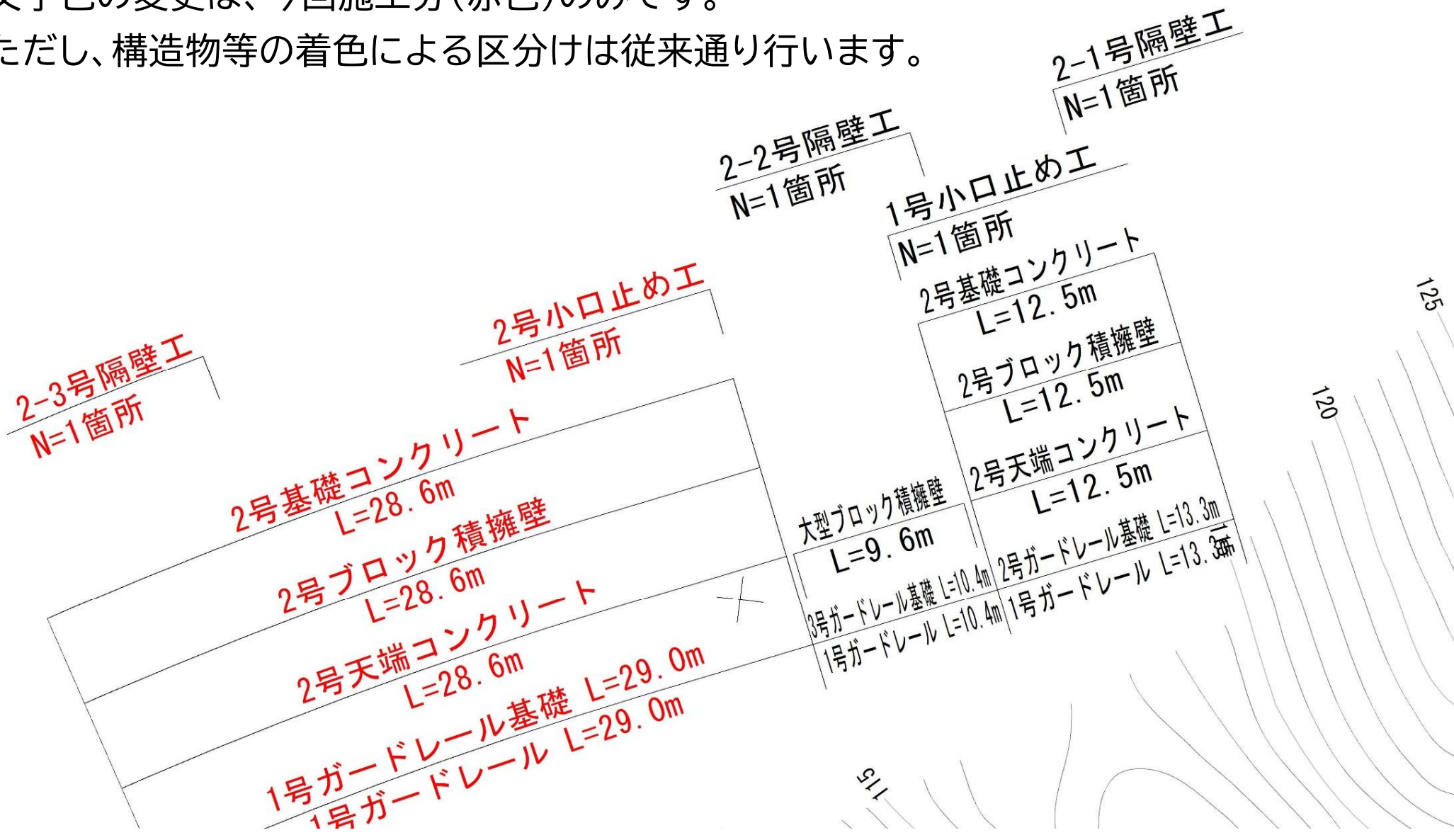
- 図面の着色箇所について、ルールを設定しました。

図面種別	着色・線色のルール	文字・旗揚げのルール
平面図	構造物等の着色区分を行う	今回施工分は赤字で明示 (旗揚げ線は黒) 施工範囲の赤旗揚げに測点・施工延長を記載
縦断図	—	施工範囲を赤旗揚げで明示 (測点・施工延長のみ)
標準横断面図	施工範囲を着色で明示	着色で判別困難な場合は、文字色も変更する
横断面図	施工範囲を着色で明示	該当する数量の文字色を変更する
構造図	着色不要(線色は黒)	使用する構造物名のみ文字色を変更する
展開図	施工する構造物・法面工等を着色	—
一般図	平面図・標準横断面図に準じる	平面図・標準横断面図に準じる
配筋図等	原則着色なし(判別用は可)	—

図面の着色箇所

平面図の例-1

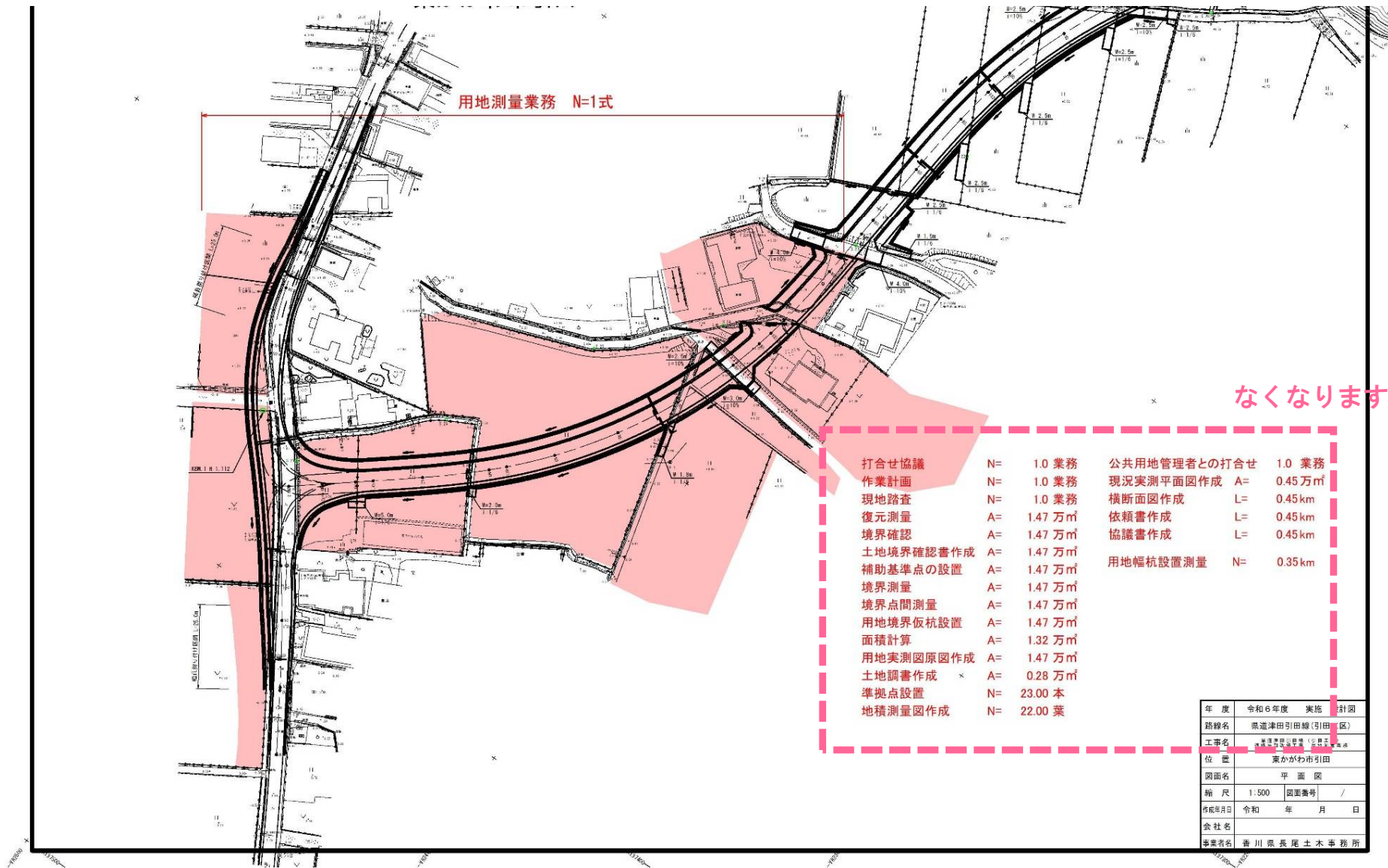
- 旗揚の文字色を変更することにより、施工箇所を明示します。
- 文字色の変更は、今回施工分(赤色)のみです。
- ただし、構造物等の着色による区分けは従来通り行います。



図面の着色箇所

平面図の例-2

- 平面図に工事概要の記載を省略する場合があります。

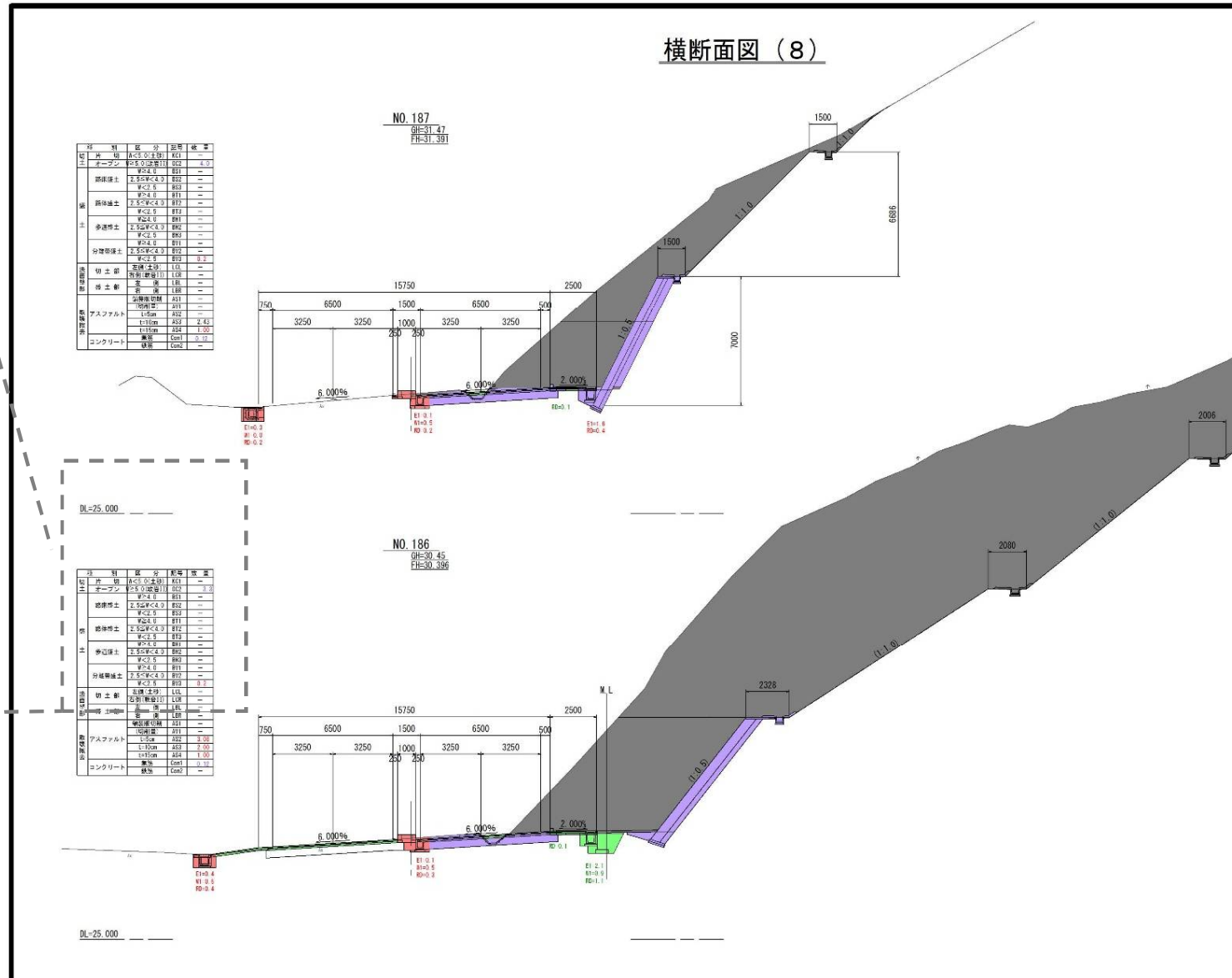


図面の着色箇所

横断図の例

- 施工範囲を着色により明示し、該当する数量の文字色を変更します。

種別	区分	記号	数量	
切土	片切	$W < 5.0$ (土砂)	KC1	—
	オープン	$W \geq 5.0$ (軟岩II)	OC2	3.3
盛土	路床盛土	$W \geq 4.0$	BS1	—
		$2.5 \leq W < 4.0$	BS2	—
		$W < 2.5$	BS3	—
	路体盛土	$W \geq 4.0$	BT1	—
		$2.5 \leq W < 4.0$	BT2	—
		$W < 2.5$	BT3	—
	歩道盛土	$W \geq 4.0$	BH1	—
		$2.5 \leq W < 4.0$	BH2	—
	分離帯盛土	$W < 2.5$	BH3	—
		$W \geq 4.0$	BV1	—
$2.5 \leq W < 4.0$		BV2	—	
$W < 2.5$		BV3	0.2	
法面整形	切土部	左側(土砂)	LCL	—
		右側(軟岩II)	LCR	—
取壊撤去	盛土部	左側	LBL	—
		右側	LBR	—
	アスファルト	舗装版切削	AS1	—
		(切削量)	AV1	—
		$t=5\text{cm}$	AS2	3.08
		$t=10\text{cm}$	AS3	2.00
	コンクリート	無筋	Con1	0.12
鉄筋		Con2	—	

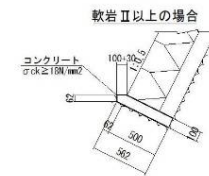
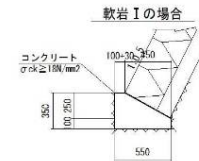
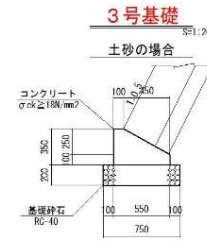
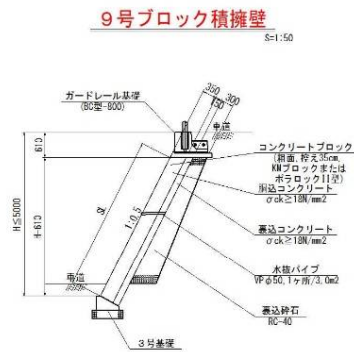
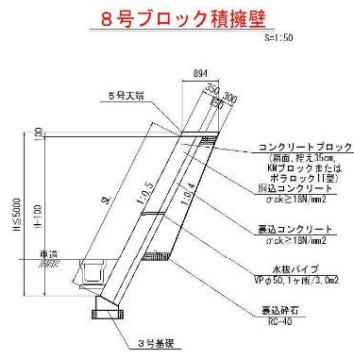


図面の着色箇所

構造図の例

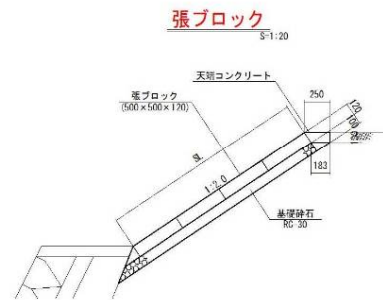
- 構造物へのハッチングは不要。構造物の線色は黒色とします。
- 使用する構造物のみ構造物名の文字色を変更します。

一般構造図 (2)



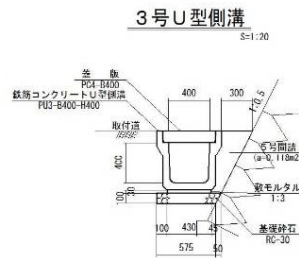
10m当り

種別	規格	単位数	量
基礎砕石	RC-40、t=200	m ²	7.50
引込	小引	m ²	4.50
コンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18N/mm^2$	m ³	1.36
目地材	t=10mm	m ²	0.14



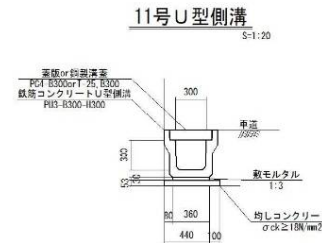
10m2当り

種別	規格	単位数	量
基礎砕石	RC-30、t=100	m ²	10.00
張ブロック	500×500×130	m ²	10.00



10m当り

種別	規格	単位数	量
基礎砕石	RC-30、t=100	m ²	6.00
裏モルタル	配合比 1:3	m ³	0.13
均しコンクリート	FH3-B400-H400	個	5.00
蓋	PC4-B400	枚	20.00
5号側溝	$\sigma_{ck} \geq 18N/mm^2$	m ³	1.18
目地材	t=10mm	m ²	0.12



10m当り

種別	規格	単位数	量
均しコンクリート	均し	m ²	0.53
均しコンクリート	$\sigma_{ck} \geq 18N/mm^2$	m ³	0.29
裏モルタル	配合比 1:3	m ³	0.11
鉄筋コンクリートU型側溝	FH3-B300-H300	個	5.00
蓋版	PC4-B300	枚	18.00
鋼製溝蓋	T-25-E300	枚	1.00

年度	令和6年度	実施設計書
図面名称	附属高松掘出線	
工事名		
位置	坂山市青洲町	
図面名	一般構造図 (2)	
縮尺	図示	図面番号
作成年月日		
会社名		
事業名		

表題欄の記載

- 図面目録がある場合に限り「工事名」「作成年月日」「会社名」「事業者名」の記載を省略。

設計図書に添付する図面の表題欄

年度	令和7年度 実施 設計図		
路線名	県道高松善通寺線		
工事名			
位置	香川県綾歌郡宇多津町新開		
図面名	大東川橋 橋梁一般図		
縮尺	図 示	図面番号	1 / 18
作成年月日			
会社名			
事業者名			

省略可

省略可

